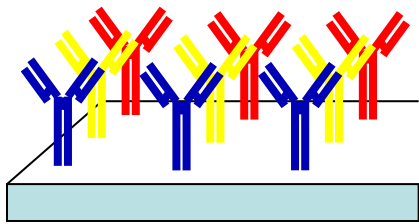


### 私たちが行っている研究について

DNAやタンパク質などの生体分子が持つ、特異性や反応性などの優れた性質を、**生活の質の向上に応用していく研究**に取り組んでいます。

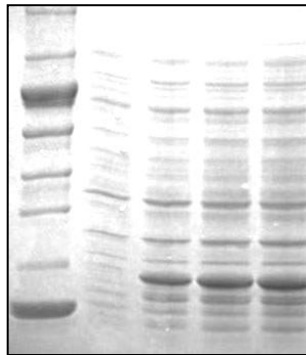
#### 研究テーマ名

①健康チェックを高感度に行うためのチップの開発



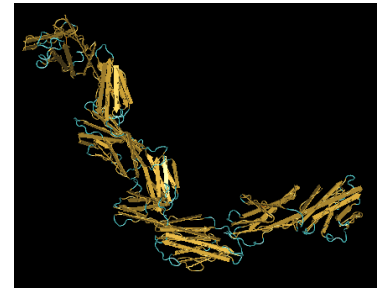
↑健康チェック用チップ  
(多種類の抗体をガラスに貼り付けて、多くの病気の診断を一度に行う！)

②遺伝子組換えによる有用タンパク質の発現



↑電気泳動による有用タンパク質の発現確認  
(細胞内で有用タンパク質の発現量が増加しているのがわかる！)

③抗体のように、標的分子を見つけられるDNAの探索



↑AIDSウイルスの標的となるタンパク質CD4の構造  
(AIDS診断の指標となるCD4を認識するDNAを探して診断に利用する！)

### 研究室について

- ・指導教員：教授 矢野和義 (yano@bs.teu.ac.jp)
- ・メンバー：大学院修士課程5人、学部4年生11人(男性13人、女性3人)
- ・共同研究先：東京医科歯科大学  
独立行政法人 産業技術総合研究所

### 高校生へのメッセージ

核酸やタンパク質は、人工的にまねをしようと思ってもなかなかできないこと(分子を見つける、つなげる、切る...)をいとも簡単にやってのけます。その優れた機能を存分に引き出して、いっしょに健康診断などに応用していきましょう！